

県立博物館・美術館で開催中の「日本民藝館80周年 沖縄の工芸展」を担当する主任学芸員の外間一先さん。開幕日の

魚眼

レンズ



展示解説で、日本民藝館初代館長の柳宗悦らが収集した前世紀の沖縄の名品を紹介し「帆掛け船の紅型衣装などモダンなデザインや美しさは現代でも魅力的だ。柳の審美眼も堪能して」と呼び掛けた。

東京・駒場の民藝館に足を運び、「民藝」の雰囲気由来館者に感じてもらうとキャプションに至るまで展示構成の細部を民藝館調にまとめた。写真家・坂本万七が昭和10年代に撮影した写真約200点を配し、戦前の沖縄の映像も上映する。「無名の作家が作った工芸品だが、現代の工芸作家がうなるものばかり。沖縄文化の素晴らしさを改めて認識する機会になればうれしい」と強調する。

9/26 沖縄が誇る名品堪能して